

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

2022
えんだより



8

ArteKodomotoKi

お知らせ

- 9月1日は予定通り、引き取り避難訓練を行います。大災害を想定した避難訓練を行い、そのまま保護者のお迎えを待ちます。年に一度の訓練となりますので、ご協力頂きますようお願い致します。詳細は後日お知らせ致します。
- 夏休みのご予定の連絡ありがとうございました。それ以外のお休みもご予定が決まり次第ご連絡いただくと食数の調整が出来て、フードロスが減らす事ができます。可能な限り早めのご連絡をお願い致します。
- 感染に関する情報はエントランスに随時掲示しておりますので、必ずご確認ください。ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

| August 8 2022 | | | | | | |
|---------------|-----------|-----|---------------------|------------------------|-----------|-----|
| sun | mon | tue | wed | thu | fri | sat |
| | 1 | 2 | 3 音楽あそび | 4 0歳児健診 (7月の誕生会) | 5 | 6 |
| 7 | 8 発育測定 | 9 | 10 音楽あそび | 11 山の日 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 音楽あそび | 18 避難訓練 0歳児健診 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 音楽あそび ECEQ | 25 | 26 誕生会 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 プール納め | | | |

※ECEQ（イーセック）とは、保育の質向上のためのシステムです。



グローバルパートナーシップ ～はじめの一歩～

園長 山田寿江

感染症リスクと共にライフスタイルも変容し、柔軟な対応が求められる反面、未来はみえにくい状態が続いています。人との接触が多い子どもの生活は、非接触によるメンタル面の心理的影響、表情が見えないマスク生活が与える影響も懸念されています。マスクを着用してお互いを守るという習慣は、集団的価値観の強い東アジアの特徴でもあるそうです。国の文化や社会的理念が影響しており、グローバルな対応が求められる時代、変化を主体的に捉えるチャンスとも言われています。

SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」は、行政、企業、個人などあらゆる立場の人が協力してグローバルパートナーシップを活性化し、目標を達成しようとするものです。子どもの情緒の安定を図り、健やかな成長のために、社会で暮らす人々と友好的な協力関係を築いていくことが必要と考えています。



ECEQ (イーセック) って？ ECEQ® <https://youchien.com/research/eceq/>

ECEQ (Early Childhood Education Quality System) とは、専門コーディネーターによる公開保育を活用した幼児教育質向上システムで、主に幼稚園で実施されています。同法人こども園が受審した実績があり、対象外の保育園で初めて正式受審することになりました。

大嫌い！本当はだ～い好き？ のエピソード

3歳のCちゃんに叩かれた5歳のAくん「やめて！」と返すと、「Aくん大嫌い！」とCちゃん。「Cちゃん、嫌なことあった？」と聞くと、首を振ります。

「A君のこと好きなのかな？」に「・・・」ぷ～っとほっぺを膨らませ、照れているようにも見えます。「いつも僕とBくんのこと叩くんだよ」とAくん。

「Aくんのこと好きなんじゃない？」と言うと、「え？」とびっくり顔？！

本当の気持ちは、なかなか分からなくて伝わりにくいものですね。

ふたりのケンカ ～言葉のない仲直り～

Bくんに追いかけられたAくん、振り向きざまにBくんにグーパンチ！

「どんなに嫌なことがあっても暴力はダメ！」と強く言うと、うなだれるAくん。

「もうAくんと遊ばない！」とBくん。

「それは言葉の暴力です！嫌なことあったのかもしれないけど、そんなこと言われたら悲しんだよ」
どんなことがあったのか分かりません。いつも一緒に遊んでいる二人です。

「何がイヤだったか、二人で話してみてね」と、少し離れて数分後戻ると、柔らかな表情の二人。

「話したのかな？」二人とも首を振ります。「もういいの？」「もういい」とBくんはすっきり顔。

「Aくんは？」「もういい」と笑顔で行ってしまいました。追いかけるBくん。仲良しの二人です。

生活を共にすることで自分と違う相手と出会い、葛藤があり、話しを聴き合って理解を深めたり、落とし所をみつけたりすることが「パートナーシップ」の土台になるのではないかと考えています。

【続・ジャガイモの毒～諦めない心～】

先月、5歳児が育てたジャガイモが緑色になってしまったことを書きましたが、その続きがあります。

ジャガイモの緑色（毒）を取りたいと思った子ども達は2つの実験をしました。でも、水に入れたジャガイモは腐ってしまい、日光にあて続けたジャガイモはひび割れて大きな穴があきました。どちらも緑色（毒）も取れないし、食べることも出来ませんでした。

原因は何だろう？Aさんは『水が多すぎたせい』と考えました。Bさんは『飴を入れれば腐らなかった』と思いました。数名で話し合い、今度は砂糖水（水は少なめ）に毒ジャガイモを入れてみることになりました。子ども達の簡単には諦めない心が素敵です。どうなるか楽しみです。



【青虫はウンチしか出ない？】

レモンの木に青虫がいたので、お部屋で飼うことにしました。毛虫から青虫に変化すると、よく葉を食べ、たくさんのウンチ（黒くて丸い粒）が出ます。3歳児と観察しているときに、「この黒い粒々は何かな？」と尋ねてみました。

「ウンチだよ！いっぱいウンチ出るんだよ。オシッコも出てるよ」と言うので

「オシッコは何処に出ているの？」と聞くと

Sくん「葉っぱのところに出てるよ」

Aくん「オシッコは出ないよ！だって水分とってないもん！」

“水分をとってない”という大人っぽい発言にびっくりしていると、4歳児のBくんがやってきて

Bくん「青虫はオシッコしないに決まってるよ！だってチンチンないもん！」

確かに私もずいぶんたくさんの青虫を見てきましたが、青虫のチンチンは見たことがありません。子ども達の楽しい発言に、たくさん笑って元気をもらいました。



主任：黒木

※今月の表紙の写真は松元先生が撮ったナイスショットです。部屋に大きなとんぼが迷い込んできました。ショック状態でひっくり返ったトンボをじっと見つめる2人。この後、トンボは息を吹き返し数時間お部屋の中で子ども達を楽しませてくれたそうです。

Atoo

6月下旬から始まったシャワーでは、トイレにある浴槽に入ると“何が始まるのだろう”と不安な様子がみられました。足の方からシャワーをかけると、足踏みを始めパチャパチャと水の感触を味わっていました。何日かシャワーを経験すると、保育士がシャワーバッグの準備を始め「〇〇ちゃんシャワーしよう」と声を掛けると、自分からシャワー室の方へ行くようになりました。

水遊びが始まってからは外でシャワーを行っています。もっと遊びたいと涙を見せていた子ども、シャワーの前に行くと蛇口やホースなどに興味がいき、手を伸ばして遊びながらシャワーを行っています。



これはなにかな？

大きなタライを前にすると、始めは触ろうとしなかったり泣きそうな表情をみせたりしていました。保育士が水を触ってパシャパシャすると、真似して手を入れ始めました。洋服が濡れ“あっ”という表情をしたかと思うと、もっと濡らしてみようという気持ちにかわり、何度も同じ場所に水をかけて遊んでいました。

いつもと違う玩具にも興味津々で、タライに入れたり床に出したりと、全部触ってどんな物か確かめていました。



雨が降ってきた～

上からジョウロを使って目の前に水をかけてみると、“どこからふってくるのだろう”と上を見上げていました。手を伸ばして触ってみると顔に水がかかり、とっさに顔を横にしていました。それでも気になる気持ちは強く、もう一度手をのばし今度は握って捕まえようとしていました。雨がやんでしまうと、指を差し「あっ」と声を出して、もう一度やって欲しいと伝えてきます。

8月は水だけではなく寒天や氷、泥んこ遊びなどを行っていき、初めての感触を味わっていきたいと思います。



Ato1



水って冷たくて気持ちいいね！

最初は水遊び用の玩具に夢中だった子ども達。ジョウロや水車など我先に手にしては喜んで遊んでいましたが、Sさんがタライに両手を入れて気持ち良さそうにしている姿を見て、真似をする子の姿も……。バシャバシャと水しぶきをたてて遊び始めました。保育者がシャワーの雨を降らせても平気で喜び手を伸ばすようになり、“水って冷たくて気持ちいいね”と気付いたようです。まだ、数回しかしていない水遊び。これからもっと水に触れる楽しさを知っていき、体全体で水の冷たさを感じながら遊んでいきたいと思います。



夏の感触遊び

感触遊びの中で何をしようかと考え、寒天遊びをすることにしました。

小部屋にシートを敷いて寒天が入った容器を置いておくと、子ども達は興味津々で手を伸ばしています。表面だけ指先で触り始めたり、寒天の中に両手を入れたり、道具を使って感触を確かめたり、お友達が触っている様子を見ていたり、その子によって反応は様々……。

いくつか色を用意しましたが、EさんとAさんは赤、M君は黄色と自分の好みの色を選んでいるようにも見られました。また、素材を通して、友達と一緒に触って気持ちを共有しているようでもありました。

感触遊びは他にもまだまだたくさんあります。氷や片栗粉、色水など、これからも子ども達が素材とじっくり関わって遊べるような、いろいろな感触遊びを一緒に味わっていこうと思います。

PICO2

どうする？

水遊びで使う水車を紹介しました。水車は5つしかありません。「どうする？」子ども達に聞いてみました。「ダメーよ。」「ダメーっ。」と自分が使いたい気持ちを主張し、これでは喧嘩になりそうです。「どうしても使いたい時はどうしようか？」再び質問してみると、シーンと静まりました。「あとで一。」「ありがとう。」友だちの声が聞こえてくると、一瞬で子ども達の表情が明るくなりました。真剣に考え友だちの意見に共感する姿にびっくり！その日の水遊びでは「かして一。」「あとで一。」のやりとりを楽しむ姿もありました。子ども同士で関わる姿がよく見られます。時には気持ちがぶつかることもあります。自分の思いが伝わるととても嬉しそうです。子ども達と話をするのは大人も楽しいですね！



ぬれるよー

プール遊びの日は朝のお仕度がサクサクと進みます。水着に着替えるのも楽しみなようで、まだ時間があるのに水泳帽をかぶるお茶目な姿もチラホラ。プールではバタ足やワニ歩きなどを存分に楽しみ、プールから出たくないというつぶやきが聞こえることもあります。そんな中、「僕は入らないよ。」とN君。自分の気持ちをはっきりと伝える姿に感心し、どうするのかなと様子を見ていました。しばらくすると、友だちが水に入った姿を見てついに両足をプールにチャボン。「ぬれるよー。」と一言つぶやくと次の瞬間は満面の笑顔になりました。プールから上がったN君に、どうだった？と聞いてみると「楽しかったよ。」とにっこり。いよいよ夏本番。楽しみはまだまだ続きます！

割れない……

プール遊びの前にスイカ割りをしました。スイカ割りが初めての子がほとんどのようで、棒を持ってどうすれば良いのか分からない様子。保育者が見本を見せますが、大人でも割れず空振りしてしまいます。その様子を見た子ども達がスイカ割りにチャレンジしました。

代わるがわる棒を持って挑み、友だちと協力し合う姿も見られました。それでも割れず、最後に保育者が硬い棒に持ち替えてスイカを割ると……パチパチパチと子ども達から拍手が聞こえてきました。その日の給食にスイカが登場し、スイカ好きな子ども達が大喜び。美味しい物をたくさん食べて元気に夏をのりきってほしいです。



ナノ03

三原色に出会う

タライに水を溜めてあそぶことに慣れてきた頃、その日はそこに青い絵の具を溶かしてみました。「ええ～！青色じゃん！」「なんか色がついてるよ」「絵の具入れたの？」と変化にすぐ気が付きました。Hさんは目をキラキラさせ、さじの小さなスプーンでせっせと色水を器に移していました。「何してるの～？」とHさんの様子をうかがいに来たMさん。いつの間にかふたりは料理ごっこを始めていました。「スープで～す」「アイスもできたよ～」水に色が付いただけなのに、ふたりのイメージは大きく膨らんであそびがどんどん広がっていきました。いつもある物にちょっとした変化をつけるだけで、こんなにもあそびが変わるのですね。タライが空になったので、今度は黄色い色水をつくりました。とにかくすくっては移すことに夢中になっていたAさんは、青色を移した器に引き続き黄色い水を入れました。しばらく経った頃、「緑になったよ」とAさんが呟きました。大人にとったら“青+黄色=緑”は当たり前のことになっていますが、Aさんにとっては初めて目の当たりにする変化だったかもしれません。きっといつか“青に黄色を混ぜたら緑になる”という原理を理解することでしょう。だから今は、この混色の不思議を子ども自身が身を持って経験することや不思議を突き詰める夢中さを大切にしたいと思いました。



水あそびで広がる関わり

3歳ナノ組、水あそびもだいぶダイナミックになってきました。他のクラスと一緒に水あそびをしたときに年上の友達の姿をよく見ていて、真似しています。子ども達は、器用にホースやじょうごを繋げて水を流したり水鉄砲に水を溜めて友達や保育者に勢いよく発射したり！相手の反応をみてキャッキヤと笑い声が絶えません。水面を力いっぱい蹴ると水しぶきが出ることに気付く子もいました。

友達との水合戦がヒートアップして「かけないで！」「お顔はやめて！」と言ひ合いになることもありましたが、何が嫌だったのかを言葉で伝えられるようにもなりました。あそびながらもコミュニケーションを取って相手の気持ちを受け止める経験をしています。

今後はプールでの活動も存分に楽しんでいきたいと思います。

NaNo4



「みんなで色水であそぼう！」と話をした後にワクワクしながら屋上園庭へ向かいました。昨年、たくさん色水で遊んでいた子どもたちからは……「何色にしようかな～」「赤と青でむらさきがつくれるんだよね?!」などと想像を膨らませ、気持ちも高まっていました!!そしてバケツに赤、青、黄、白の絵の具と水を入れてみると……なんと!そこには色が付いたあわが出来上がりました!!以前遊んだ時の洗剤が少し残っていたようで魔法のように出てきた泡に大興奮の子どもたちでした。



泡は水のようにすぐに色が混ざらず、マープル色になったり、なんともいえないカラフルな色になったり、さまざまに変身!容器にたくさんの泡をつめこみ、「アイスー!」と見立てながら遊んだりする姿がありました!子ども達同士で協力して泡を集めて容器からあふれだす様子を大笑いしながら何度も試したり……。

偶然の遊びの中から広がる子ども達の発想力……。日常の経験で得た色の知識を駆使するだけでなく、想像力を使い、様々な物に見立てていく力。子ども達の『楽しい』の中には沢山の『力』が詰めこまれているのだと感じました。



Nawo5



～攻撃には負けないぞ！！～

昨年も楽しんだ水遊び。しかし、中には顔にかかるのは苦手で、静かにのんびりあそびたい子もいました。なんと！今年は水が苦手だったお友だちが全身で水遊びを楽しんでいるではありませんか！ホースから勢いよく出てくる水を小さな鍋で受け止めようとびしょ濡れになりながらも必死でかまえるHくん。大の仲良しRくんが激しく水遊びするのに交ざって楽しんでいました。去年はシャワーの水すらも「顔はかけないで」と言っていたHちゃんもAちゃんも「先生、こっちだよ！」とホースの水が顔にかかるのが、向かってくる頼もしい姿に変身していました。そして、鍋やボウル・蓋を盾にして水攻撃から身を守る子どもたち!!面積の小さい装備でもお構いなしてびしょ濡れになりながら全身で水遊びを楽しんでいました。



～どこでも研究所！～

給食室からもらったおひつが玩具の仲間入りしました！二重構造になっていて、中蓋には三角の穴が空いています。水遊びで泡石鹸をつかった時に周りのお友だちはアクティブに遊んでいる中で男の子たちが静かにおひつを囲んでいました。中蓋の穴に石鹸の膜ができたことを発見し、押ししてみたり指を入れてみたりと感触を楽しんでいました。濡れた手で触ると膜は消え、また泡をつけて膜を作っては繰り返して楽しんでいました。泡まみれの手で触ると不思議と割れないで指が膜の中に！何度も何度も繰り返して楽しんでいました。水遊びと言うと大胆に遊ぶことのほうが多い気がします。どこで遊んでいても実験のようにして遊ぶ姿は5歳児らしいなと感心します。



多くを学ぶより創造するほうが優る。創造は人生の根底なり。

(ジャン・アンリ・ファブル 博物学者 1823~1915)

Atelier



「豊かにあそぶ子ども」

子ども達の大好きな遊びの一つに折り紙があります。3・4・5歳が過ごすフロアには常時20色の折り紙があり、子ども達は自分のお気に入りの色で日々自由に折り紙を楽しんでいます。



少し前にその20色の折り紙をラミネートし、折り紙棚の近くに置きました。しかし用意はしたものの、私はその色カードを使って何をするか明確なイメージをもってはいませんでした。ところが、最近時々そのカードを机に広げている子ども達の姿を見かけるようになりました。さて何をしているのでしょうか。

3歳と4歳の二人がカードを選びながら話しています。2枚のカードを選び「赤の仲間だよ」とMさん、すると別の2枚を選び「じゃあこれは茶色の仲間」とKくん。どうやら二人は同系色を集めていたようです。

また別の日は4歳のSさんと5歳のYさんも一緒です。Yさんは黄色と白と灰色と茶系2枚を並べて「クワツクワツクワツ」と鳴き真似し、5色でアヒルを表しました。Mさんも焦げ茶の上に緑を置き「木だよ」、さらに青の横に黄緑を置き「これは紫陽花」そして黄緑とオリーブ色と焦げ茶の3枚で「これはカメだよ〜」と色だけで具体的な花や生き物をたくさん表します。

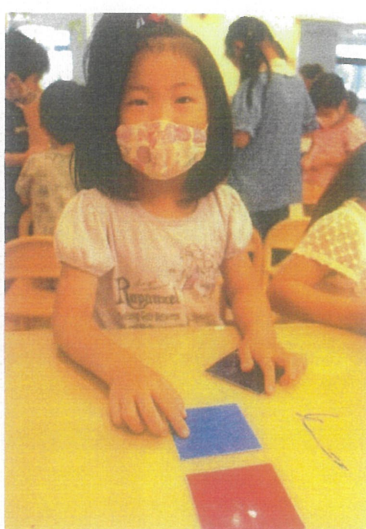
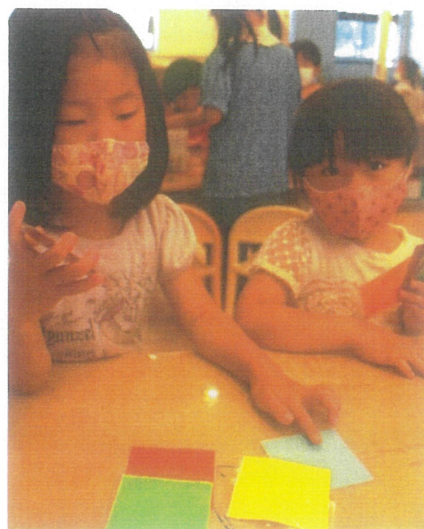
さらに今度は「混ぜる〜」と言いながら色カードをシャッフルし、ババ抜きのようにカードを配りました。「自分の

色と、あとお友達の色を取って使いたかったら、自分の(から出すの)は1枚だけだよ」とSさんに説明をしています。どうやらこのゲームは手持ちのカードを組み合わせると何かを表現し、早く手持ちのカードがなくなった人が勝ちというルールのように。おまけに自分以外の人のカードも使ってもOKで、まるでトランプ



ゲームのような楽しさがあります。

先に出したMさん、茶色と焦げ茶の組み合わせは「チョコレート」。次にちょっと悩んで黄色と水色を出したSさんは「レモン」。するとMさんは「ここ(水色)がすっぱいところ、黄色はレモンの外側の色だよ」と、それぞれの色の意味と感覚を私に教えてくれました。そして青と赤を出して「これは夕焼け空と海」「夕焼け空と海は、お母さんが色がきれいだよって言ってた〜」と、とても嬉しそうに話してくれました。



色の組み合わせは様々なイメージを呼び起こし、味覚など五感にまで繋がっていきました。さらに色がつイメージや美しさを、お母様との会話を通して心に留めていることにも感激しました。偶然に生まれたあそびの中で、こんなに素敵なことを自然に楽しんでいる子どもの創造力には、全く以て感服します。(文責：一然)

Lunch & Snack time

食育だより

夏野菜で厳しい夏の暑さを乗り切りましょう！

連日、厳しい暑さが続きます。夏野菜には水分やビタミンがたっぷり含まれており、体のほてりをおさえ、暑い季節には体調を整える効果があります。旬の野菜を味わって、毎日を元気に過ごしましょう。

とうもろこしの皮むき

3歳・4歳・5歳さんは、とうもろこしの皮むきに挑戦。とうもろこしを手にとると、「甘くて美味しいにおいがする。」「メロンみたいな香り。」「皮をさわると気持ちいい〜」など、さすがアルテの子ども達。まずは観察から。

皮をむき終えたとうもろこしは、5歳ナノ組さんが給食室に届けてくれました。スチームコンベクションオーブンで蒸したとうもろこしをおやつにいただきました。次に届いたとうもろこしは芯だけでした！



おやつ仕上げは目の前で

フルーツゼリーの仕上げを2歳ピコ組さんの目の前で、一人ひとりがトッピングを選びました。

「クリームだけー」「ブルーベリー大好き」「みかんいっーぱい」と自分の希望をしっかりと伝えます。クリームを絞ってブルーベリーやみかんを添えると、子ども達の目はキラキラ、身体を乗り出して興味深々。好みに仕上がったフルーツゼリー。テーブル毎に、お手でパッチン「いただきます！」みんな美味しい顔になりました。



おにぎりの握り方

幼児クラスはラップにお米をのせてあげると、自分達でおにぎりを握ります。自分で握ったおにぎりは美味しいようで、よく食べます。もう何度も作っているのでも、握り方も上手になってきました。先日、職業体験に来ていた中学生のお兄さんに「こうやって、指を曲げて握ると三角になるよ」と5歳さんが手ほどきする場面も。

アルテの畑からお知らせ

今月も、ミニトマト・トマト・きゅうり・茄子・しそ・きゅうり・すいかが元気よく育っています。

★ 旬の食材 ★

デラウェア・トマト・ズッキーニ・
とうもろこし・おくら・なす・
にがうり・とうがん・ブルーベリー
きゅうり・スイカ・かぼちゃ・梨
パインアップル

★ 8月の行事食★

暑い夏を乗り切ろう！

8/8(月) [昼食] バーベキューチキン・
ゴーヤーチャンプル・すいか

8/10(水) [昼食] 夏野菜カレー・
パイナップルゼリー

8/12(金) [おやつ] アイスクリーム

8/26(金) お誕生日会

[昼食] 季節のご飯(カラフルピラフ)・鶏のから揚げ(カレー味)・なすときゅうりのマリネ風・
トマトスープ・梨

[おやつ] 季節のフルーツゼリー

鼻水ほけんだより

8月7日は鼻の日

～ 鼻水をすするのはキケン？ ～

鼻水は、鼻に付着した細菌やウイルスを外へ洗い流すために出るものです。鼻水をすすると鼻の奥から耳へと細菌が流れ込んでしまい、中耳炎などを引き起こすことがあります。鼻水が出たときは、ティッシュを使って正しい方法で鼻をかむようにしましょう。

～ 鼻かみ風船で練習してみよう ～

先日5歳ナノ組さんと鼻かみ風船を作りました。上手に鼻から息を出せれば、風船がとびだすようになっています。

ビニール袋に自由に絵を書いてもらいました！

ビニール袋を筒につけると鼻かみ風船の出来上がり！



★やり方

- ① 片方の鼻の穴を抑えます
- ② 筒の先端を鼻の穴にあてます
- ③ ゆっくりと鼻から息を出します

★トレーニング効果

鼻から息を出す事で口呼吸傾向を改善し、鼻呼吸の動機付けに繋がります。感染予防にも効果的です。

※今回はコロナウイルス感染拡大に伴い、園での練習指導を中止しました。是非ご家庭で練習してみてください。

8月のよてい

発育測定 8月 8日(月)

0歳児健診 8月 4日(木)

8月18日(木)

